

岡山対がんシンポジウム2012

テーマ「子宮がん」

～今、若い女性の子宮頸がんと、中高年女性の子宮体がんが増えています～

日時：平成24年6月2日(土)13:30～16:00

場所：南部健康づくりセンター 大会議室

近年増加傾向にある「子宮がん」には、子宮の入り口にできる“子宮頸がん”と子宮の奥にできる“子宮体がん”があります。今回のシンポジウムでは、健康づくり財団の子宮頸がん検診の報告と、川崎医科大学産婦人科学の中村隆文教授に子宮がんの最新の研究と最先端の診断、治療について講演していただきました。

講演後の質疑応答では、多くの質問が寄せられ、中村先生には、丁寧に回答していただき、有意義なシンポジウムとなりました。

報告

〔発表者〕岡山県健康づくり財団 臨床検査技師 小川 育恵

〔内容〕「子宮がん検診の細胞診検査について」

講演

〔講師〕川崎医科大学 産婦人科学 教授 中村 隆文 先生

〔演題〕「子宮頸がんと子宮体がんはどこが違うのか」



質疑応答 多くの方から質問がありました



みなさん、熱心に講演を聞かれています